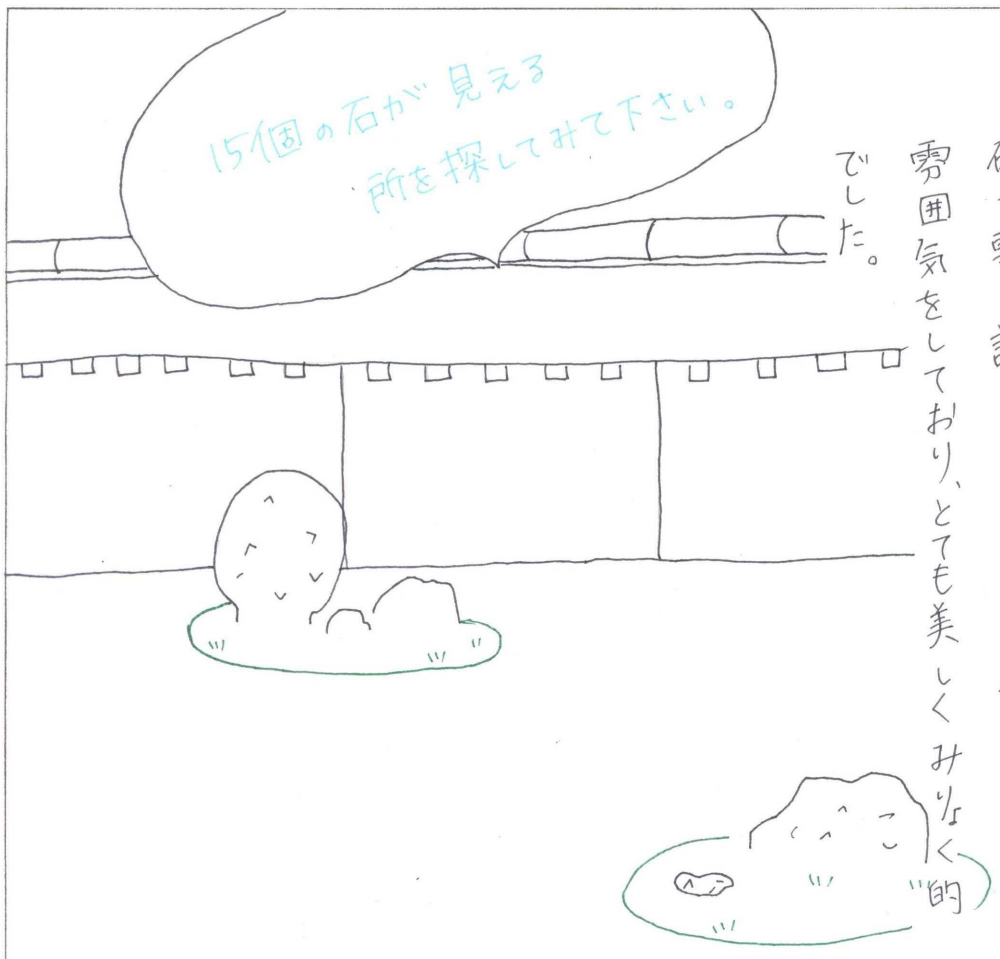
修学旅行新聞

3年3組

森戸 [redacted]

龍安寺

徳大寺家の別荘だったのを一四五〇年管領細川勝元が譲り受けて寺地とし、妙心寺の義天玄承を開山として創建されたものです。中でも有名なのが石庭です。この庭には十五個の石を配置したもので、周りは白砂を敷き詰められています。謎に包まれた雰囲気をしており、とても美しくみりょく的でした。



金閣寺

お釈迦様の舎利（お骨）をまつった。舎利殿「金閣」が特に知られ、金閣寺と呼ばれています。ですが正しくは「鹿苑寺」と言い、臨済宗相国寺派の禅寺です。

光をあびて、金閣寺はとても輝やいていました。美しく、水にうつった逆さの金閣もとてもキレイでした。周りの緑が金色をいっそう目立たせていました。

銀閣寺

銀閣寺は臨済宗相国寺派に属する禅寺で、建立は「四八二年室町幕府時代将軍足利義政公による。鹿苑寺にならい、隠栖生活を過ごすため山荘東山殿を造営しました。この東山殿が銀閣寺の発祥です。

銀閣寺はまた違う雰囲気がして勇しく、かっこよい姿で建てられていました。感動しました。

三十三間堂

千体千手観音像は七十人余りの造仏師が一体一体心をこめて創りあげた芸術性の高い仏像です。どれもほぼ人間ぐらいの高さで百六十五センチ～百六十七センチ。三十三間堂に詣でたらいとしい故人に会えるという信仰がありますが、この千体のお顔にふとなつかしい人のおもかげを見い出すかもしれません。

パンフレットでは一部しかのせられていませんが実際に見てみるとこれの何倍もの仏像があり、とても迫力が増していました。ぱっと見どれも同じ顔のように見えますがよく見ると顔の形や指の高さなどがびみょうに違っていました。なつかしいおもかげだけでなく、自分に似ている像も探がしてみてはいかがでしょうか。

感想

この三日間、日本の歴史を身近に感じながら楽しむことができました。今まであまり深く考えない事も、この修学旅行で考えさせられました。また、二日目の班別行動で協して時間を守り仲間の良い所をたくさん知ることができました。

班員

- 武藤 [redacted]
- 三浦 [redacted]
- 牧野
- 毛塚 [redacted]
- 矢部
- 森戸 [redacted]
- 布川 [redacted]
- 森戸 [redacted]